

井岡康時教授年譜・著作目録

和教育論」二〇二〇年三月まで

【学歴・職歴】

一九五四年十月 奈良県奈良市生まれ

一九七八年三月 京都大学文学部史学科（国史専攻）卒業

一九七八年四月 奈良県公立高等学校教諭（一九九三年三月まで）

一九九三年四月 奈良県立同和問題関係史料センター指導

主事（二〇〇九年三月まで）

二〇〇九年四月 奈良県立同和問題関係史料センター所長

（二〇一五年三月まで）

二〇二〇年四月 奈良大学文学部史学科教授（二〇二五年

三月まで）

二〇〇一年四月 奈良女子大学非常勤講師（「部落史と部

落問題」二〇二〇年三月まで）

二〇〇二年四月 世界人権問題研究センター嘱託研究員

（現在に至る）

二〇一五年四月 同志社大学文学部非常勤講師（「日本近

現代史」二〇二五年三月まで）

二〇一五年四月 天理大学非常勤講師（「人権と差別」「同

二〇一七年四月 京都大学国際高等教育院非常勤講師（「差

別・偏見・人権」二〇二〇年三月まで）

【編著書】

○部落問題・教育史等

「（仮称）水平社歴史館」建設推進委員会『図説 水平社運動』（解放出版社、一九九六年）

水平社博物館編『新版 水平社の源流』（解放出版社、二

〇〇二年）

黒川みどり編著『部落史研究からの発信』第二卷（解放出

版社、二〇〇九年）

奈良県立高田高等学校『奈良県立高田高等学校百年物語』

（奈良県立高田高等学校、二〇二二年、単著）

滋賀県人権センター編『滋賀の同和事業史』（滋賀県人権

センター、二〇二一年）

『写真記録 部落解放運動史 全国水平社創立一〇〇年』

（解放出版社、二〇二二年）

朝治武・井岡康時・手島一雄著『賤民の後裔』を生きる

北原泰作と部落問題』（解放出版社、二〇二五年）

○自治体史

川上村史編纂委員会編『川上村史』本編、史料編上・下（吉野郡川上村、一九八七～八九年）

東吉野村史編纂委員会編『東吉野村史』通史編、史料編上・

下（吉野郡東吉野村、一九九〇年）

安堵町史編纂委員会編『安堵町史』本編、史料編上・下（生駒郡安堵町、一九九〇～九三年）

王寺町史編纂委員会編『新訂王寺町史』本文編、資料編（北

葛城郡王寺町、二〇〇〇年）

広陵町史編纂委員会編『広陵町史』本文編、史料編上・下（北葛城郡広陵町、二〇〇一年）

川西町史編纂委員会編『川西町史』本編、史料編（磯城郡

川西町、二〇〇四年）

千田稔編『三宅のあゆみ』（磯城郡三宅町、二〇〇七年）

京田辺市史編さん委員会編『京田辺市史資料編 第三卷

近代・現代資料』（京田辺市、二〇二三年）

○奈良県刊行物

奈良県議会史執筆委員会編『奈良県議会史』第一卷（奈良県議会、一九九一年）

奈良県議会史執筆委員会編『奈良県議会史』第二卷（奈良

県議会、一九九五年）

奈良県教育百二十年史編さん委員会『奈良県教育百二十年史』本編、資料編（奈良県教育委員会、一九九五年）

ならの女性生活史編さん委員会『ならの女性生活史 花ひらく』（奈良県、一九九五年）

奈良県議会史執筆委員会編『奈良県議会史』第三卷（奈良県議会、二〇一一年）

【論文等】

「大和の「非人番」覚書」（奈良県立同和問題関係史料センター）（以下、史料センター）『研究紀要』一号、一九九四年）

「奈良県の部落改善政策と改善運動―その問題点と課題―」（史料センター）『研究紀要』二号、一九九五年）

「明治初期の斃牛馬処理をめぐる考察」（史料センター）『研究紀要』三号、一九九六年）

「「貧困」をめぐる言説と被差別部落の自己認識―近代の部落差別をめぐる―」（史料センター）『研究紀要』四号、一九九七年）

「明治後期奈良県の膠生産について」（史料センター）『研究

紀要』五号、一九九八年)

「大正期奈良県における水平社運動の一側面」(史料センター『研究紀要』六号、一九九九年)

ター『研究紀要』六号、一九九九年)

「大正期の町村合併と部落問題——奈良県南葛城郡大正村分離運動を中心に——」(史料センター『研究紀要』

七号、二〇〇〇年)

「可能性の運動体——燕会から水平社へ」(『水平社博物館

研究紀要』四号、二〇〇二年)

「奈良県における部落改善事業と水平社運動」(史料セン

ター『研究紀要』八号、二〇〇二年)

「一九二〇年代前期の町村会選挙と奈良県水平社」(秋定嘉

和・朝治武編著『近代日本と水平社』(解放出版社、

二〇〇二年)

「地域の政治状況と水平社運動——一九二〇年代後半の奈

良県を中心に」(福岡県人権研究所『部落解放史ふく

おか』一一〇号、二〇〇三年)

「大和国葛下郡東山村の歩みと地域社会——近世近代移行

期を中心に——」(史料センター『研究紀要』九号、

二〇〇三年)

「産業組合と部落改善運動に関する覚え書き——奈良県の

事例から」(部落解放研究所『部落解放研究』一五九号、

二〇〇四年)

「明治初期の県政と「解放令」——奈良県と五條県の事例から——」(史料センター『研究紀要』一〇号、二〇

〇四年)

「近代奈良県の地域社会と部落差別をめぐる問題点」(史料

センター『研究紀要』一一号、二〇〇五年)

「行政史料から見た初期奈良県水平社の諸相」(史料セン

ター『研究紀要』一二号、二〇〇六年)

「薬師寺周辺地域における新田開発村の成立をめぐる」

(史料センター『リージョナル』一号、二〇〇六年)

「村の要件——添下郡矢田村と新村の争論から——」(史料

センター『リージョナル』二号、二〇〇六年)

「霊場の整備と被差別部落」(史料センター『リージョナル』

三号、二〇〇六年)

「史料紹介・奈良県戸籍規則書とその背景」(史料センター

『リージョナル』四号、二〇〇六年)

「明治初期大和国における非人番制度の改革と戸籍編成」

(史料センター『研究紀要』一三号、二〇〇七年)

「明治初期の被差別部落における神社整備——大和国葛下

郡東山村の事例から——」(史料センター『リージョナル』五号、二〇〇七年)

「明治中期の被差別部落における寄留差入書をめぐって——人々の移動はどのように行われたか——」(史料センター『リージョナル』六号、二〇〇七年)

「非人番への給米に関する一史料をめぐって」(史料センター『リージョナル』七号、二〇〇七年)

「明治初年の野非人と地域の対応」(史料センター『リージョナル』八号、二〇〇七年)

「大和国における辛未戸籍の編成について」(北崎豊二編『明治維新と被差別民』(解放出版社、二〇〇七年)

「部落問題の語られ方——大正期の部落観についての一試論——」(史料センター『研究紀要』一四号、二〇〇八年)

「春日山異聞——乞食へのまなざしをめぐって——」(史料センター『リージョナル』九号、二〇〇八年)

「『明治之光』の復原と基礎的研究」(史料センター『研究紀要』一五号、二〇〇九年)

「明治前期奈良県の遊郭・貸座敷に関する史料をめぐって」(史料センター『リージョナル』一二号、二〇一〇年)

「奈良町木辻遊廓史試論」(史料センター『研究紀要』一六号、二〇一一年)

「鎌田男子青年団決議録」(『奈良人権部落解放研究所紀要』三〇号、二〇一一年)

「奈良県における運動史研究の蓄積状況と課題——大和同志会創立一〇〇年、奈良県水平社創立九〇年によせて」(『水平社博物館研究紀要』一四号、二〇一二年)

「戦間・戦時体制期奈良県の被差別部落の状況について」(史料センター『研究紀要』一七号、二〇一二年)

「第二次大戦後初期の奈良県における部落問題関係新聞記事リストと解説」(『奈良人権部落解放研究所紀要』三一号、二〇一二年)

「初期水平社の可能性」(京都部落問題研究資料センター『部落史連続講座講演録二〇一二年度』、二〇一二年)

「座談会 近現代部落史研究の論点と課題」(手島一雄氏、友常勉氏との座談会)(部落解放人権研究所『部落解放研究』一九四号、二〇一二年)

「国勢調査小地域集計にもとづく奈良県同和地区の変化と現状に関する考察」(『奈良人権部落解放研究所紀要』三二号、二〇一三年)

「社会的差別の解明と史料調査——奈良県立同和問題関係史料センターの取り組みから——」（『日本史研究』六〇八号、二〇一三年）

「近世近代移行期における山城国綴喜郡松原村の変容とその背景」（世界人権問題研究センター『研究紀要』一八号、二〇一三年）

「市制町村制期の奈良県における町村合併についての一考察」（史料センター『研究紀要』一八号、二〇一三年）
「郡界にある被差別部落——「越智の岩崎」に関するノート——」（史料センター『リージョナル』一四号、二〇一四年）

「嘉永元年の「小児角力」——地域史のなかの子どもの像を考えるために——」（史料センター『リージョナル』一五号、二〇一五年）

「奈良県編『教育参考資料』の概要とその背景」（史料センター『研究紀要』一九号、二〇一五年）

「部落差別撤廃運動と政治参加——第二次大戦後初期の奈良県の動向を中心に——」（部落解放人権研究所『部落解放研究』二〇四号、二〇一六年）

「一九五〇年代の被差別部落をめぐる状況と政策形成——

奈良県を事例に——」（全国部落史研究会編『部落史研究』創刊号、二〇一六年）

「書評『人種神話を解体する』を読む 近現代の部落差別のためのノート」（『奈良人権・部落解放研究所紀要』三五号、二〇一六年）

「第二次大戦後初期における児童生徒の長欠についての考察——奈良県の被差別部落の事例を中心に——」（世界人権問題研究センター編『問いとしての部落問題研究——近現代日本の忌避・排除・包摂』世界人権問題研究センター、二〇一八年）

「近代の地域社会と部落差別の関係から考える解放論」（朝治武・谷元昭信・寺木伸明・友永健三編著『部落解放論の最前線 多角的な視点からの展開』解放出版社、二〇一八年）

「奔走する今村忠次——明治維新と地域の再編」（『京都市歴史資料館紀要』二八号、二〇一八年）

「『東日本の部落史』から考える近代の地域社会と部落問題」（全国部落史研究会編『部落史研究』四号、二〇一九年）
「そして村になる——大和国添下郡六条新村の形成と展開——」（奈良大学文学部史学科『奈良史学』三八号、二〇二二

一年)

「一八八六年のロックダウン 大和国十市郡北八木におけるコレラ感染をめぐる覚書」(『奈良史学』三九号、二〇二二年)

「地域社会と部落問題」(朝治武・黒川みどり・内田龍史編 講座近現代日本の部落問題一「近代の部落問題」、解放出版社、二〇二二年)

「京都府における郷土教育の展開とその背景」(同志社大学人文科学研究所『社会科学』五一巻四号、二〇二二年)
「大学における人権教育——『差別の構造と国民国家』を読んで考える——」(『奈良大学人権教育研究』一九号、二〇二二年)

「喜田貞吉——多民族国家認識と部落問題」(朝治武・黒川みどり・内田龍史編『非部落民の部落問題』、解放出版社、二〇二二年)

「奈良市東木辻町の貸座敷経営をめぐる諸課題」(『奈良史学』四〇号、二〇二三年)

「書評 小川幸司『世界史とは何か「歴史実践」のために』」(『奈良史学』四一号、二〇二四年)

「春日山の情景——物乞う人びとの足跡をたどる」(奈良大

学編『史料から広がる世界 奈良から世界へ過去から未来へ』(奈良大学、二〇二四年)

【共同研究】

「近代都市における地域共同体の変容に関する歴史的研究——京都市を事例として——」(日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 研究代表者 二〇一八年四月～二二年三月)

「マイノリティの包摂／排除をめぐる生政治・部落改善・融和政策の歴史社会学的研究」(日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B) 研究分担者 二〇一八年四月～二二年三月)

「部落問題政策の形成に関する歴史社会学的研究」(日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B) 研究分担者 二〇二三年四月～二七年三月)

「京都の都市周縁における歴史の記憶の継承について——近世から近代へ——」(日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 研究分担者 二〇二五年四月～二九年三月)